1. **応募書類チェック表**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **氏名** |  | **事前登録番号** | 0000-0000 |

**事前登録番号の記載のない書類は受付いたしません。**

応募される場合は必ず事前登録を行い、事前登録確認メールに記載されている事前登録番号を記載ください。

**応募書類チェックリスト**

※**次ページの注意事項**を満たしているか確認の上、「提出数」欄に提出する書類の数を記載してください。

（1点のみ提出する書類は「１」、任意の点数を提出する書類は実際に提出する数を記載してください）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 様式 | 応募書類 | 必要数 | 提出数 |
| A | 応募書類チェック表 | 1 |  |
| B | 履歴書 | 1 |  |
| C | 研究業績リスト | 1 |  |
| D | 修士論文要約 | 1 |  |
| 博士論文要約 | 1 |  |
| E | 研究業績 | 最大3 |  |
| F | 『E: 研究業績』の要約 | 『E: 研究業績』と同数 |  |
| G | これまでの研究概要 | 1 |  |
| H | 今後の抱負 | 1 |  |
| I | 推薦状 | 1以上（任意の数）  ※推薦者が採用審査会事務局に直接メール添付により送付される場合には、応募書類への添付は必要ありません。点数欄には、「応募書類に添付する数／提出する総数」を記載してください。 | ／ |
| J | GDPR同意書  ※該当者のみ | 1 |  |
| K | 突出人材の応募課題名等  ※該当者のみ | 1 |  |

**提出時の注意事項**

※下記の注意事項を満たしているか確認の上、右の欄にチェックを入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 応募書類は、様式を順番に並べ、PDFに変換し**単一ファイル**にまとめてください。ファイル名は『（登録番号）-（氏名）.pdf』（例：1234-1234-SansouTarou.pdf）とし、ファイルサイズは**20MB以下**としてください。  **※形式の不備や書類の不足等があった場合は審査の対象となりませんので、十分にご注意ください。** |  |

**応募課題**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 優先順位 | 公募番号 | 注意事項 |
| 1 |  | * 事前登録の際に選択した公募番号を記載してください。希望する公募番号や順位は事前登録から変更しないでください。 * 希望する公募番号や順位を変更される場合は、事前登録を再度行ってください。 |
| 2 |  |
| 3 |  |
| 4 |  |
| 5 |  |

※このページは応募時に削除する必要はございません。

**応募書類作成時の注意事項**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 様式 | 応募書類 | 備考 |
| A | 応募書類チェック表 | * 事前登録確認メールに記載された事前登録番号を必ず記載してください。 * 「応募課題」欄には、事前登録の際に選択した公募番号を記載してください。希望する公募番号や順位は事前登録から変更しないでください。 |
| B | 履歴書 | * 住所や連絡先等は事前登録内容と相違がないように作成してください。事前登録内容に誤りがあった場合は、事前登録を再度行ってください。 |
| C | 研究業績リスト | * 指定様式の業績分類を変更・削除しないでください。 |
| D | 修士論文要約  博士論文要約 | * 各**1ページ以内**で作成して下さい。必要に応じ図表を使うことができます。 * 応募時点で博士課程に在籍中の方は、現時点で予定している博士論文の内容で作成ください。また、○年○月博士課程修了見込であること、および論文の内容は想定であることを付記してください。 * 修士論文を執筆した方は、修士論文の要約を必ず提出してください。 |
|
| E | 研究業績 | * 論文別刷等、これまでの研究業績のコピーをご提出ください。ファイルにパスワードはつけないでください。 * 研究業績は**3点まで**添付可能です。発表済み（論文においては出版済）の研究業績に限ります。 |
| F | 『E: 研究業績』の要約 | * 様式Eにおいて添付された研究業績の要約を、各**1ページ以内**で作成してください。必要に応じ図表を使うことができます。 * 論文名、著者名、雑誌名、発表年及びページ番号を記載してください。 |
| G | これまでの研究概要 | * これまでの研究経歴や研究者としてのコアコンピタンスについて、**1ページ以内**で作成してください。必要に応じ図表を使うことができます。 |
| H | 今後の抱負 | * 産総研での採用後の抱負を、5年程度以内の短期的な目標と、15〜20年くらいの将来的な展望に分けて、**1ページ以内**で作成してください。必要に応じ図表を使うことができます。 |
| I | 推薦状 | * 最低一通提出してください。 * 以下の点を満たしていることをご確認ください。これらを満たしていない推薦状は無効となります。   １．推薦者の署名、もしくは捺印が必要です。  ２．推薦状の宛先は「国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長　石村和彦」としてください。  ３．作成日を記載してください。日付は2022年4月1日以降としてください。   * 推薦状のコピーが入手可能であれば、応募書類に添付してください。推薦者が採用審査会事務局に直接メール添付により送付される場合には、応募書類への添付は必要ありません。 |
| J | GDPR同意書  ※該当者のみ | * 欧州経済領域（European Economic Area）居住者は、EU一般データ保護規則に基づき個人情報の提供に係る同意書をご提出ください。 * 署名済み原本のスキャンデータを応募書類に添付してください。 * EEA域内からの応募でない場合は、EU加盟国の国籍を有していたとしても提出する必要はありません。 |
| K | 突出人材の応募課題名等  ※該当者のみ | * 突出人材に応募する場合のみ、自身で設定した研究課題名と任期中（5年）の研究概要を**2ページ以内**で作成してください。その際に、設定した研究課題と対応すると考える研究領域を明記ください。 |

1. 産業技術総合研究所公募選考採用試験履歴票

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | | | | 性別 | |  | | 写　真　貼 |
| 氏　名 |  | | | |
| 生年月日 | (西暦) 　　年 月 日生（満　　才） | | 国籍 |  | | | | |
| 現住所 | （現住所）　〒  （電話）　　　　　　　　　　（携帯電話） | | | | | | | |
| （連絡先）　〒  （電話） | | | | | | | |
| Email | (PCのみ) | | | | | | |  | |
| 学　歴  (学科･専攻 まで記入）  行不足の場合  備考または別紙（様式自由） | （高校） | | | | | | | (西暦) 年 月　入学  (西暦) 年 月　卒業 | |
| （大学） | | | | | | | (西暦) 年 月　入学  (西暦) 年 月　卒，卒見，中退 | |
| （大学・大学院等） | | | | | | | (西暦) 年 月　入学  (西暦) 年 月　卒･修，卒･修見，中退 | |
| （大学・大学院等） | | | | | | | (西暦) 年 月　入学  (西暦) 年 月　卒･修，卒･修見，中退 | |
| （大学・大学院等） | | | | | | | (西暦) 年 月　入学  (西暦) 年 月　卒･修，卒･修見，中退 | |
| 論文名 | （修士論文） | | | | | | | | |
| （指導教官名：　　　　　　　　　 　） | | | | | | | | |
| （博士論文）　(学位：　　　　博士　／　取得年月　(西暦)　　年　月) | | | | | | | | |
| （指導教官名：　　　　　　　　　 　） | | | | | | | | |
| 職　歴  その他  行不足の場合  備考または別紙（様式自由） | 期　　　　　　　間 | 勤　務　先・所　属・職　名 | | | | | | | |
| (西暦)　 年 月～ 年 月 |  | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | |
| ※産総研での勤務歴がある場合は研究ユニット名も記入ください。（例：学振特別研究員（産総研○○研究センター）） | | | | | | | | |
| 資格免許 |  | | 海外在住･留学等の経験  (高校卒業以降) | | | 国名（　　　　　　　　　）  機関名（　　　　　　　　　）  期間：(西暦)　　　年　　月～　　　年　　月  目的： | | | |
| 趣味娯楽 |  | |
| 健康状況 |  | |
| 配偶者 | 有　・　無　（扶養義務　有・無）  ※記載は任意です | | 扶養親族  (配偶者除く) | | | 子　　　　人　　／　　その他　　　　人  ※記載は任意です | | | |
| 外国語  （極力記載のこと） | 英　語 ：　上　 ・ 　中 　・ 　下　　　　TOEIC：　　　点　／　TOEFL：　　　点　／　英検：　　級  その他の語学（　　　　　 ）：　上　 ・ 　中 　・ 　下 | | | | | | | | |
| 備　考 | （研究能力アピール等自由記載）100字以内 | | | | | | | | |

**C: 研究業績リスト（論文業績の分類やファイルのフォーマットを変更しないでください）**

**氏名:**

※論文、Proceedings等については全体のページ数がわかるように記載してください。  
※論文への貢献度がわかるようにご自身の名前の後に、括弧書きで貢献度を記載してください。

**研究者ID：**

|  |  |
| --- | --- |
| ORCID ID (https://orcid.org/) |  |
| Researcher ID (https://www.researcherid.com/) |  |

※ID番号をお持ちの場合は、それぞれのデータベースのID番号を記入してください。

1. **誌上発表**

※出版済の業績のみ記載してください。採択済で出版前の業績や、投稿中（採択前）の業績を記載する場合は、「９．その他」に記載してください。

　①［国際誌　査読有り　筆頭］

* + 1. “Encouragement of Researchers in the AIST”, 産総太郎（80％）、筑波次郎, J. Tsusho Sangyo, vol.20, 1, pp.10-20, 2001.10

②［国際誌　査読有り　非筆頭］

1. Encouragement of Researchers in the AIST”, 筑波次郎, 産総太郎（30％），J. Tsusho Sangyo, vol.20, 1, pp.10-20, 2001.10

③［和文誌　査読有り　筆頭］

1. 「独法における人事と労務に関する一考察」, 産総太郎（70％）、筑波次郎、常盤健二（○○大）, 研究と環境（印刷中）１０ページ相当

④［和文誌　査読有り　非筆頭］

1. 「独法における人事と労務に関する一考察」, 筑波次郎、産総太郎（30％），常盤健二（○○大）, 研究と環境（印刷中）４ページ相当

⑤［Proceedings　査読有り　筆頭］

1. ”Establishment of the Creative AIST Organization”, 産総太郎（80％）、筑波次郎、関東健一（○○大）, 　　　Proc. New Future on AIST, pp.1105-1115, 2001.12

⑥［Proceedings　査読有り　非筆頭］

1. ”Establishment of the Creative AIST Organization”, 筑波次郎、産総太郎（40％），関東健一（○○大）, Proc. New Future on AIST, pp.1105-1115, 2001.12

⑦［誌上発表　査読なし］

**２．解説・総説**

①［査読有り　筆頭］

1. 「独法における人事と労務に関する一考察」, 産総太郎、筑波次郎、常盤健二（○○大）, 研究と環境, pp.1200-1215, 2013.4

② [査読有り　非筆頭]

1. 「独法における人事と労務に関する一考察」, 筑波次郎、産総太郎，常盤健二（○○大）, 研究と環境（印刷中）

③ [査読なし　筆頭]

④［査読なし　非筆頭］

**３．著書・刊行物・調査報告**

①［英文］

1. ＠＠＠

②［日本語その他］

1. 「独法最前線」, 第５章人事と労務, 産総太郎, 2001.9, ○○出版

**４．招待・依頼講演**

①［学会：国際］

②［学会：国内］

1. 「通産省における研究所のあり方」, 産総太郎,日本○○○協会平成13年度第2回講演会, つくば, 2001.12

③［非学会：国際］

1. 「通産省における研究所のあり方」, 産総太郎,日本○○○協会平成13年度第2回講演会, つくば, 2001.12

④［非学会：国内］

1. 「通産省における研究所のあり方」, 産総太郎,日本○○○協会平成13年度第2回講演会, つくば, 2001.12

**５．口頭発表・ポスター発表**

①［国際　筆頭または登壇者］

1. ”New Evaluation System for Researcher and Engineer”, 産総太郎、筑波次郎, 7th International Conference of Sunshine, Phoenix (USA), （2002.5）

　② [国際　その他]

1. ”New Evaluation System for Researcher and Engineer”, 産総太郎、筑波次郎, 7th International Conference of Sunshine, Phoenix (USA), （2002.5）

③［国内　筆頭または登壇者］

1. 「評価システムの構築」, 産総太郎、筑波次郎, 第99回日本○○学会秋期年会, 札幌,2001.9

④ [国内　その他]

1. 「評価システムの構築」, 産総太郎、筑波次郎, 第99回日本○○学会秋期年会, 札幌,2001.9

**６．受賞・表彰等**

1. （財）日本○○協会進歩賞, 産総太郎, 2001.9.3

**７．工業所有権**

※権利持分がわかるようにご自身の名前の後に、括弧書きで持分比率を記載してください。

①［国外特許　出願］

1. 「有能人材を登用するための方法」, 産総太郎（50％）、筑波次郎, 13/99999999（米国）, 2001.11.16

②［国外特許　登録］

③［国内特許　出願］

④［国内特許　登録］

1. 「短期評価法と長期評価法」, 産総太郎、筑波次郎、関東健一（○○大）, 特13-999999, 2001.6.22

**８．研究費・奨学金などの獲得実績**

1. 「△△反応における○○メカニズムの解明」,科研費(若手B),日本学術振興会,代表者, 800万円, 2001.4.1-2003.3.31
2. 「○○法の開発」,平成\*\*年度研究助成,公益財団法人△△,代表者,1200万円, 2010.4.1-2015.3.31

**９．その他**

**D: 修士論文要約**

**論文タイトル:**

**氏名:**

**D: 博士論文要約**

**論文タイトル:**

**氏名:**

**F: 研究業績の要約 (1)**

**論文タイトル:**

**著者名:**

**掲載論文誌とページ数・発行年:**

**F: 研究業績の要約 (2)**

**論文タイトル:**

**著者名:**

**掲載論文誌とページ数・発行年:**

**F: 研究業績の要約 (3)**

**論文タイトル:**

**著者名:**

**掲載論文誌とページ数・発行年:**

**G: これまでの研究業績**

**氏名:**

**H: 今後の抱負**

**氏名:**

**K： 突出人材の研究課題名等**

**氏名:**

**研究課題名：**

**研究課題と関係する研究領域名：**

**任期中の研究概要：**

**１）研究課題の背景を含む研究目的、創造性、新規性**

**２）研究手法を含む研究計画**

**３）研究計画実施のための予算計画（４千万円の使途）必要な装置、施設含む**